

令和6年度のスタートにあたって

校長 神戸 重彦

入学式を終えた144名の1年生を迎え、全校生徒が399名となり、新たな高洲中がスタートしました。年度のはじめは気持ちを新たに、自分が大きく成長できる時期です。クラス替えによる新しい環境への期待や進級による自覚等、希望と意欲をもち、楽しい学校生活を送るチャンスだと考えてほしいと思います。また、あらゆる人々と縁を結んでいく中で人格が磨かれ、その積み重ねが揺るがない自分を築いていきます。自分を大切に、仲間も大切にする気持ちを忘れず、学級での学習はもちろん、行事や委員会活動、部活動を充実させていきましょう。

みなさん、高洲中の校訓を覚えていますか？ 私は以下のように解釈しています。どれか一つでもよいので、心がけて生活してみませんか。

「感謝」 ありがたいの気持ちを忘れない生活をしよう。

「練磨」 楽なほうへ逃げず、勇気を出して挑戦し、自分を鍛えよう。

「創意」 できないとあきらめず知恵を絞り、みんなで協力して取り組もう。

保護者の皆様、私たち教職員は、3年生は学校の顔として、2年生は学校の中心としての自覚を促し、1年生は自律した生活を目指して指導に当たります。ご理解とご協力をいただきながら、子どもたちの成長に尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。